

平成28年 第15回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

平成28年 第15回宮崎市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成28年12月27日（火）13：40～15：00

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 【教育長・教育委員】

二見教育長、松野代表教育委員、藤元委員、畠山委員、江草委員

【事務局】

小泉教育局長

（企画総務課） 時任課長、山本補佐、宮畑主幹、久保係長、
佐藤主査、田中主査、茂田主任主事

（学校施設課） 長崎課長、大住補佐

（学校教育課） 松竹課長、押川補佐、岡留補佐

（教育情報研修センター） 荒武所長、牧野次長

（生涯学習課） 染矢課長、矢野補佐

（保健給食課） 横山課長、黒木補佐

（文化財課） 日高課長、小窪補佐

4 議 案

番 号	件 名	説 明 者
議案第46号	宮崎市立学校管理規則の一部改正について	学校教育課長

5 報 告

番 号	件 名	説 明 者
報告第38号	平成28年第6回宮崎市議会定例会（12月）の報告について	教育局長
報告第39号	第6回宮崎市地方創生推進本部会議、 第6回宮崎市総合計画策定会議の報告について	教育局長
報告第40号	その他の事件の報告について	学校教育課長
報告第41号	その他の事件の報告について	学校教育課長
報告第42号	その他の事件の報告について	学校教育課長
報告第43号	臨時代理の報告について	学校教育課長

二見教育長	<p>定刻になりましたので、平成28年第15回定例会を始めさせていただきます。</p> <p>本日の傍聴者はございません。</p> <p>会次第「2 会議録署名人の指名」です。資料1ページの資料1をご覧ください。</p> <p>本日の会議録の署名人は、私二見と、松野代表教育委員を指名させていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	はい。
二見教育長	<p>それでは、会次第「3 教育長及び委員報告」に入ります。</p> <p>(1) 教育長報告及び(2) 教育委員報告はございません。</p> <p>次に、(3) 教育局長報告でございます。</p> <p>11月28日(月)から12月14日(水)まで開催されました「平成28年第6回宮崎市議会定例会」、12月19日(月)に開催されました「第6回宮崎市地方創生推進本部会議及び第6回宮崎市総合計画策定会議」についてでございますが、これは「議事の報告」として、後ほど説明させていただきます。</p> <p>次に、(4) 各課行事等の報告でございます。今回行事報告はございませんが、大淀川堤防道路での小学生3名の事故のその後の状況等について、報告をお願いします。</p>
松竹学校教育課長	<p>11月15日に発生した交通事故で怪我をしました、3名の児童の現在の状況を報告いたします。</p> <p>まず、最も重症で、意識不明でありました男子児童につきましては、まだ入院中ではありますが、先週から、病院から登校し、1～2時間程度の授業を受けるまでに回復しております。医師からは、現在のところ後遺症も認められず、早ければ年内に退院できるかもしれないと伺っております。</p> <p>次に額に怪我をした、同じく住吉小学校2年生の男子児童は、体育の授業での運動制限はあるものの、ほぼ通常どおりに学校生活を送ることができております。</p> <p>最後に、右足膝下を解放骨折しました、広瀬小3年生の男子児童につきましては、退院はしておりますが、骨折部分を固定する金具がまだ取れないために、自宅療養中であります。学級担任が毎日家庭訪問を行って、1時間程度学習指導をしております。年明けにはギブスを装着し、学校で学習出来るよう準備を進めていると伺っております。3名の児童ともに順調に回復しておりますことをご報告いたします。</p>
二見教育長	<p>ありがとうございました。心配しましたが、今ここまで回復してきているということで本当に良かったと思います。</p> <p>現場の道路を走行してみましたが、注意を促す白線や印が付けられ、多くの改良がされておりました。この件はよろしいでしょうか。</p>
委員	はい。
二見教育長	<p>以上で報告は終了ですが、本年最後ということですので、委員の皆様から、今年一年で印象に残った国や県、本市における教育に関する出来事等に関しまして、気にかけていることや感想などがありましたら、ご発言いただければよろしいでしょうか。</p>
松野代表教育委員	<p>3月28日の日本教育新聞に組み体操の記事が出ておりました。組み体操での怪我が多いということについて、安全確保が出来なければ実施を見送るよう、スポーツ庁が全国の教育委員会に通知した</p>

	<p>という記事が印象に残りました。ピラミッド型やタワー型といった、高いところに登るような難易度が高い技については、安全が確保できない場合には無理はしない、実施を見合わせていく配慮が必要ではないかということでございました。ただ、小学校高学年では体格差が大きいので、危険度が高い技は慎重に選択するという表現にとどめており、中止を求めたのではなく、あくまでも現場の判断で行うという記事が印象に残りました。</p> <p>もうひとつよろしいでしょうか。7月11日の日本教育新聞の記事ですが、中央教育審議会中学校部会が、部活動の見直しについて最終会合を開いたという内容が印象に残りました。文部科学省は、7月1日に中央教育審議会中学校部会の最終会合を開いたそうですが、現在、学習指導要領の改訂に向けた作業を進められているということでございますが、その中で話題の中心になったのが部活動についてであったそうです。その目的が学校の教育活動全体の中で達成されることが重要であるということで、行き過ぎた指導に釘を刺し、改善方針を提案したという、この二つが特に印象に残りました。市内でもいろいろな話題があるのですが、以上二つにとどめさせていただきます。</p>
藤元委員	<p>全国の方々といろいろな話をする時、よく教育の話題になるのですが、私はスポーツの分野とともれる仕事をしている関係上、小学生、中学生の体力に差があると感じています。スポーツをやっている子どもからは強さを感じるのですが、なかなかそういう子どもが少なくなってきた中で、プロスポーツ学会では、小中学校のグラウンドを芝生化したいということ強く願っているというご提案がありました。芝生の上をふれあいの場にしたり、大人も子どもも寝転んでのスキンシップの場にしたりするようなことでもいいのですが、芝生のグラウンドは、色々なスポーツの原点でもあるということが、グローバル化の中では問われています。日本は先進国で、トップを走っている国ですし、小学校から芝生のグラウンドで色々なことができるといいのではないかという話を、ここ2、3回聞いたものですから、これは教育長を通して、宮崎市としてはどのように考えていくのかという投げかけもした方がいいのではないかと思います。</p> <p>それと、グローバル化の中においては、大学生の誘拐があったりと危険もありますが、それでも多くの学生が海外に行きますし、反対に、日本にも多くの留学生が来ている状況です。そんな中で、大都市ではなく、宮崎のような地方の役割が問われるのではないかと、何を何人かの先生がおっしゃっていました。大都市よりも地方の方が安全で、グローバル化という視点でも、例えば宮崎の行政が、宮崎公立大学や教育委員会と一緒にした形で受け入れをするような、大学対大学ではなく、地域対大学のような交流ができるのではないかという話でした。地方がグローバル化していくにあたっては、行政と一体化した形が必要ではないかと思います。なおかつ地域でホームステイをしたり、小学校あるいは中学校の英語の授業等で色々な形で交流したりすることが出来るのであれば、地方のグローバル化の中における新しい仕組みとか、やり方ができるのではないかと思います。グラウンドを芝生にするということも世界の基準にあわせていく。宮崎という地域においても、世界に対して、今度オリンピックがあって、例えば合宿での練習場所として小学校</p>

	<p>のグラウンドを使うような形があると、ここはいいグラウンドですね、と言われるようになって、国際的な視点でのまちづくりにおいても役立つのではないかと考えています。</p> <p>教育、行政、商業、芸能というのは、本当に一体化したものになっていくことが地方の在り方としてはいいのではないかと、ここ1年で思っていました。</p>
島山委員	<p>私はどうしても仕事柄音楽のことが気になるのですが、昨年、そして今年も宮崎市の小学校の発表会の舞台を拝見させていただき、児童生徒がのびのびと、大舞台上で歌ったり、仲間達と心を合わせたり、響かせたりしている姿を見て、そういう体験が出来る宮崎市の取組に感動しながら客席で拍手を送ったわけですが、昨年から思っていましたのが、是非これを多くの方に披露したいということです。会場は宮崎市民文化ホールで、1,800名しか入りませんので、限界はあるとは思いますが、できたら、ケーブルテレビや新聞等で、この子どもの時代にしか表現できない天使のような表現の様子を伝えてほしいと思います。教育の不祥事を多く目にしたり耳にしたりしますが、そうではない素晴らしい部分も是非発信して欲しいということを感じました。</p>
江草委員	<p>私は教育委員になって、10月から約3か月になりますが、学校のPTA活動をして、その縁で教育委員として教育の現場に関わることになったのですが、様々な学校行事に数多く参加するということを知りました。学校支援訪問で、今のところまだ3校しか行っていませんが、この中で学校の先生方が子どもたちの学力向上、体力向上を図るために、とても努力されていることを、改めて感じました。まだまだ知らない言葉がとても多くて、それを自分で調べたりして日々勉強させていただいているところです。これから、東京にも行かせていただく機会がありますが、全国の方々とも話をして勉強させていただきたいと思います。</p>
二見教育長	<p>年末になると、よく漢字一文字でその時代を表す言葉を言われますけれども、それぞれだと思いますが、私は二文字、「隠蔽」という言葉を一体どれだけ聞いたのだろうかと思っています。</p> <p>つい先日、市議会のある会派の方が全員でお見えになりまして、学校教育課長から説明していただき、ご理解いただきました。私たちはこれだけ事件が起こって大変申し訳ないと思えますし、特にご遺族にとりましては、心に空白ができ、辛い思いをされていることは間違いないと思っています。事件が起こった後の最善の対応については、それぞれのポジションでこれ以上考えられないというくらい考えてきました。ただ、結果を管理出来ない、結果をコントロール出来ない、ということになりますと、そういう言葉が1人歩きをしてしまうように思います。説明をして分かっただけでしたが、私達の立場で言えることと、保護者しか言えないこととありますので、その采配は私達では出来ないことになります。私達が出来ることはお伝えできますけれども、保護者に全てのことについて了解を取って公表するということはまずありえないことでもあります。いくらそういう言葉を向けられようが、今後もぶれずに対応していきたいと思っていますし、ひとつひとつご遺族に丁寧に説明をしていきたいと思っています。これからいよいよ報告の段階になり、今日はそのことについても報告があると思います。浴びせられる言葉としては非常に心外で残念で悔しくてならない言葉ではありますが、組織</p>

	<p>が変わる以上、いろいろなことを考えながら、その時は最善を考えようと思って迎えている年末であります。</p> <p>それでは「4 議事」に入らせていただきます。</p> <p>本日は、議案が1件、報告が6件となっております。</p> <p>では、まず議案でございます。</p> <p>4ページをご覧ください。</p> <p>まず、議案第46号「宮崎市立学校管理規則の一部改正について」、事務局から説明をお願いします。</p>
松竹学校教育課長	<p>議案第46号、本議案は宮崎市立学校管理規則の一部改正についてご提案するものでございます。5ページをご覧ください。</p> <p>新旧対照表がございますが、第86条の事務引継ぎの内容につきまして一部変更するものでございます。現行では、各小中学校の校長は、退職や異動により事務引継ぎを行うことにつきましては明示しておりますが、事務引継書の教育委員会への報告につきましては明示してございません。学校を管理する教育委員会としましては、校長の事務引継ぎが適正に行われていることを把握するとともに、管理する必要があるとの判断から、校長事務引継書を教育委員会へ報告することを求める内容に変更するものでございます。併せまして、6ページから8ページにかけてありますように、校長事務引継書を様式第33号として定めるものであります。そのため、様式第33号以降の様式につきましては、様式番号をずらす必要が生じるものでございます。以上、ご審議をよろしくお願いいたします。</p>
二見教育長	<p>ただいま説明のありました議案第46号について、ご質問等はありませんか。</p>
松野代表教育委員	<p>私も過去、こういう引継書を作成し、あるいは受け取ったこともあるのですが、やはり教育委員会に提出するということが、これは本当に極めて大事なことで、今回正式な形で出していただけて大変ありがたいと思います。</p>
二見教育長	<p>以前、市町村立の管理規則は、県が作ったものを準則として使っていた時期があります。平成の1桁台はそうでした。</p> <p>しかし、県があまり市町村学校に関与することはいかかなものかということになりましたので、市町村において管理規則を策定するようになってきたのですが、管理規則の中に教育委員会への提出について明示がないということで、今回明示をするという提案でございます。今代表委員がおっしゃったように、しっかりした流れが出来ると思っております。</p>
二見教育長	<p>議案第46号「宮崎市立学校管理規則の一部改正について」、ご承認いただけますでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
二見教育長	<p>ご承認ありがとうございます。</p>
	<p>以上で、議案は承認されました。次に、報告でございます。</p> <p>まず、11月28日（月）から12月14日（水）まで行われました、報告第38号「平成28年第6回宮崎市議会定例会」について、事務局から説明をお願いします。</p>
小泉教育局長	<p>資料の12ページをお開き下さい。</p> <p>平成28年第6回の12月定例議会が、11月28日から12月14日の間で行われました。</p> <p>一般質問の内容は右のページの別紙の一覧表のとおり、12名の方から62問の質問がありました。</p>

	<p>それから、別紙3のとおり、2人の方からそれぞれの議案についての質疑をいただきました。12ページにお戻りいただきまして、本会議の提出議案についてでございますが、全て可決されました。下に、文教民生委員会の委員長報告の内容が載せてあります。この議案を審査していただいた委員会の中での取りまとめとさせていただければと思います。今回は、指定管理者を指定する議案が多かったわけですが、それについて、特にNPO法人安井息軒顕彰会については、これまでに施設管理をした実績がないということで、どこか実績のあるところと共同で管理するといった考え方も踏まえて候補者を選定すればよかったのではないかという内容でございました。経費の縮減については、経費縮減に対する項目の点数が低かったということですが、これについては、指定管理料というものは前もって財政課と上限額を決めさせて出させていただけますので、経費の節減について、指導助言をされたいというご指摘もありました。候補者選定については、安井息軒顕彰会には、市長が顧問、それから議員がオブザーバーとしてついていらっしゃったという事実が公表されて、市民に不信や誤解を招く恐れがある、という判断があったということでありまして、それについても細心の注意を払われたい、というようなお話がありました。</p> <p>もうひとつは、14ページの質疑の中で、学校給食食材加工等業務委託についてでございました。これは給食調理員の退職者が多くあるのですが、新規採用がなく人員が不足しますので、委託という形態とするということを出している議案でございます。現在、給食センター、佐土原、田野、高岡、清武の学校給食センターを含めまして、50ヶ所あります。今回、小戸小、国富小、宮崎南小を委託にいたしますので、直営で職員がいる学校は11ヶ所となり、ほとんどが委託という状況はお伝えしたいと思います。</p>
二見教育長	<p>ただいまの説明について、ご質問はございませんか。</p> <p>今日の宮崎日日新聞にも、鬼の洗濯板の欄で指定管理について書かれてありました。するどい指摘があったということで、私達もいい勉強になりました。</p> <p>他にないようでしたら、次に、報告第39号「第6回宮崎市地方創生推進本部会議及び第6回宮崎市総合計画策定会議の報告について」、事務局から説明をお願いします。</p>
小泉教育局長	<p>それでは、12月19日(月)に行われました、報告第39号「第6回宮崎市地方創生推進本部会議及び第6回宮崎市総合計画策定会議」について、報告させていただきます。16ページをお開きください。地方創生の会議は、今までの計画の説明がありましたが、今回は特に来年度までに策定をする、第五次宮崎市総合計画の柱の部分について説明がございました。17ページの表の左側が、現在動いている部分でございまして、右側が平成30年度からスタートする、次の計画の柱の案でございます。来年度までが作成期間となりますので、あくまで現段階での原案ということでございます。</p> <p>基本体系につきましては、年が明けましたら、ほぼ確定をしていくというスケジュールでございまして、それから、それぞれの中身を作っていくということになります。地方創生総合戦略から総合計画を作ろうとしていますので、どうしても産業界に話が偏り、効果について長期的な視点が必要な子育てや教育の部分が少し薄くなっています。人材育成と人格形成は分けて考えてくださいというよ</p>

	<p>うな部分も、会議の時に申し上げたところでした。今後、若干修正された形で出てくるものと考えております。18ページからは、今までの計画は下に書いてありますけれども、五次計画の将来像等が記載されています。19ページのまちづくりの基本姿勢というところについて、「地域に愛着を持ち、新たな価値を共に築く」という文章における「築く」という文字については、教育長から、共創の創という字、共に創るという表現の方が共創の起源としては正しいのではないかと発言していただきました。積み上げていくということではないのではないかと話もされたところでした。20～22ページまでは、人口ビジョンの人口推計等が載っております。23ページが今後のスケジュールでございます。24ページ以降は、宮崎市議会の地方創生調査特別委員会がまとめた提言書でございます。35ページに委員が載っていますが、その方々で検討された結果でございます。</p>
二見教育長	<p>この前の会議で教育局長からも、教育はどの項目で読めばいいのかという質問をしてもらいましたところ、ワークライフバランスの適正化を図る「子育て支援の充実」という項目から子育てや教育という分野を読み込んで欲しいということでしたけれども、それでは私達もなかなかつながりが分かりにくいので、やはり教育という分野はしっかりした位置付けが欲しいという意見を持ったところでございます。まだ叩き台の叩き台を作成している段階ですので、来年度一杯かけて作り上げていくということです。</p> <p>ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。また、お気づきになられた点はございますでしょうか。</p> <p>他にないようでしたら、次に、報告第40号から報告第42号までの「その他の事件の報告について」、報告第43号「臨時代理の報告について」でございますが、これにつきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第1項第7号により、非公開といたしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>
委員	はい。
二見教育長	<p>それでは、ただいまより、非公開といたします。</p> <p>それでは、ここで非公開を解除いたします。</p> <p>次に、「5 その他」に移らせていただきます。委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いいたします。</p> <p>ないようでしたら、「6 次回委員会の決定」について、事務局から説明をお願いします。</p>
時任企画総務課長	<p>次回定例会は、平成29年1月23日（月）午後1時40分から、教育委員会室で開催することをご提案いたします。</p>
二見教育長	<p>提案のありました日時で、次回定例会を開催してよろしいでしょうか。</p>
委員	はい。
二見教育長	ありがとうございます。
	<p>続きまして、「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。</p>
時任企画総務課長	（説明）
二見教育長	<p>他にございませんか。</p> <p>以上をもちまして、平成28年第15回定例会を終了させていただきます。</p>